



「富士山百景」いい日旅立ち

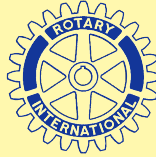
VOL. 2560

# Rotary International

「変化する年度・第一歩」

## 第2560回例会 2016.12.7

ソング「我等の生業」



# 富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30  
 例会場:ホテルグランド富士  
 TEL(0545)61-0360  
 事務所:〒416-0913 富士市平塚本町8-1  
 ホテルグランド富士内  
 会長:小 出 隆 久  
 副会長:滝 克 芳  
 幹 事:岸 本 泰 次  
 副幹事:石 井 誠

### 会長挨拶

小 出 隆 久



忘年会もシーズンとなりました。皆さんも色々と予定があることと思います。昨晚も、ある忘年会の二次会でスナックへ寄りましたけれどお客さんはいませんでした。

ただ、駅前の飲食店は若者たちで盛況でした。又、タクシーの運転手

さんも「花金は古(イニシエ)の話で、不況です。」と溢していました。

さて、今日は「有る会合の中での、社長心配事」について若干お話しします。

2日前の有るお寺の総代会での話の中で「最近、若い職員とのコミュニケーションが上手に取れない。」どう接したらいいのかな?私の考え方は、「古いのかな?」

6人の総代さん(70歳ぐらい)と意見交換しました。

色々な意見がありましたけれど、結論として

①社長等の企業リーダーは、目指すべき会社の姿を頭の中で明確にする。

②現実とのギャップを部下に伝える。

③現在の若手職員の意見も取り入れ再検討し、将来像(目標)を定める。

④企業(会社)として、新たな目標に企業全体で取り組む。そんな、話題となりました!

世代交代の問題点でしょうか。

### 幹事報告

岸 本 泰 次

①例会変更のお知らせ

新富士RC 12/13(火) クリスマス夜間例会  
(19:00～あさくま)

12/20(火) ガバナー補佐公式訪問  
(12:30～音楽会 フルート&ピアノ)

12/27(火) 特別休会

1/10(火) 新年例会(夜間) 18:30～グリーンホテル

1/17(火) 特別休会

富士山吉原RC 12月15日(木) 忘年家族会

12月29日(木) 特別休会

MUは、15日と29日 11:30～12:30ホワイトパレスフロント

富士宮西RC 12月16日 夜間例会へ

12月23日 休会 12月30日 休会

柿田川RC

■例会場/沼津卸商社センター

411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203

TEL 055-971-6500 駐車場は建物裏手(西側)

■ご注意

\*メイクアップにお越し頂ける場合は、食事の手配の関係上事前に事務局(055-969-2321)までご連絡頂けますと助かります。

\*サインのみメイクアップ受付時間は、11:30～12:30となります。

②ガバナー事務所よりお知らせ

・12月ロータリーレート 106円

③会報回覧

新富士クラブ 富士宮西クラブ 富士山吉原クラブ

京都洛南クラブ 青少年相談所日より

### 親睦委員会

野坂富士雄

夫人誕生日 瀬 尾 紘 子 12.12

結婚記念日 太 田 義 隆 S60.12.8

☆私のスマイル

太田義隆君 誕生日祝いのワインおいしく飲みました。  
川村統勇君 磯西さん、いつも素晴らしいカレンダーありがとうございます。

等 健次君 ようやく パールハーバーに現職首相が行ける時代になりました。素晴らしいことです。憎しみがセピア色になるまで膨大な時間とエネルギーがかかります。

## 例会プログラム予告

12月14日 クラブフォーラム 前島ガバナー補佐訪問

12月21日 夜間例会 忘年家族会

## 出席報告

野坂富士雄

2560回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	6名	27名	81.8%

2558回 11/17確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	7名	28名	84.8%

(ビジター) 池谷滋雄君(富士宮RC)

(他のRCへの出席者氏名) 植田真晴君 山下いづみ君

⌘ 社会奉仕委員会より ⌘  
 12月15日 交通安全街頭指導  
 集合:市役所前 AM7:00

## 年次総会

### 次期新役員発表

会場監督	瀧	真砂人
会計	岩間	章哲
会長	滝	克芳
幹事	石井	誠
直前会長	小出	隆久
副会長	植田	真晴
副幹事	佐藤	昌久

奉仕プロジェクト委員会	吉野	榮司
クラブ管理運営委員会	岸本	泰次
会員増強委員会	石橋	広明
ロータリー財団委員会	宮下	正雄
クラブ広報委員会	吉田	浩之



## 在籍20年以上の会員のスピーチ

あるロータリアンの終活

中島康治

現在の不安感、不透明な、そして不条理としか言い様がない世間であって、ウソのない、真実の会話が出来る集い、「場」即ち、四つのテストを信奉し信頼できる人々の卓話を聞かせて頂くだけでも、得難い学びが有ると思っています。



さて、私が、この地、富士市に根づくきっかけは、1965年 東京オリンピックの翌年、若干30歳の5月でした。大学より、当時、同じ科の院長の手下となって働くように命ぜられ、市立富士中央病院に赴任致しました。公立なるため医師も公務員、公僕として働かねばならないという使命感から、昼夜を問わず、ガムシャラに仕事に、のめり込むで行きました。15年経ち、小生45歳、恩師の院長も退官し周りの医療環境も検査機器もドンドン新しく開発され婦人科的ガン撲滅には、従来より違った方法、即ち、早期発見、早期治療が主流となるであろうと思い、一人で開業する道を支援者の協力もあり、現在の青島町で始めました。それからは、毎日、毎日、診療所と自宅との振り子時計、昼間街中へ出たこともなく、その頃流行りの「泳げタイ焼き君」にみょうに同感していたものです。1993年 58歳 地元出身の産婦人科医師が開業前提で、しばらく常勤で働きたいという話があったと同じ頃、故田邊先生から「ロータリークラブで婦人科の医師が空席(空き)が出ているので、入会しないか？」と言う誘いを受けました。女性患者さんとはばかり会話のない自分に気付き、井戸の縁よりソロソロ這い出すカワズの心境でしたが、一方で、この地に来てから30年、ようやく認知されたかという光栄なる気持ちと一緒に、喜んで入会させて頂きました。ロータリーソングの通り、奉仕の理想を、現実にとっても、自分の狭いテリトリーしか思い浮かばないので入会5~6年は右往左往していた様におもいます。やがて、会員皆様方の温かい気遣いを頂き、また、職業奉仕、社会奉仕各委員長、会長、ロータリー財団、等の役割を頂き、日本産婦人科医会で行っているオギャー献金への寄付。市立中央病院へ新生児転送用ベット寄付、長年にわたり介護職の看護師表彰、新生児センター医師の卓話、会員前立腺がん検診。等私なりにできる活動に参加させて頂きました。中でも特に、継続中の「低体重児専用紙オムツ」のクリスマスプレゼント事業は、発案者の1人でもあり、ロータリアン必読の雑誌「ロータリーの友」への寄稿掲載を頂き、又小さな命、数少ない命の尊さを社会一般の人々に発信し続ける事は、クラブとしても大きな奉仕活動だと思っています。最後に、免疫力が落ちた老人の肺炎は俳優西田さんのコマーシャルにある通り罹って見れば、誠に恐ろしく高熱、呼吸困難、歩く事もやっとの事。5年前、何の予約もなく突然に個室に入院させて頂きました会員の病院の皆様、命の恩人です。ところが、昨年暮れ、再び肺炎に罹り、苦しいところを今度も又、優しく会員の医院に入院させて頂き、本当に命拾いを致しました。この様に、命の恩人が二人、我が富士ロータリークラブの会員で頑張っているのに、クラブとして、全会員の平均年齢を若返りさせる為に、81歳の老人が退会する方が、手っ取り早くていいという考え方は理屈では正しいかもしれないが、会員増強維持委員会委員長の立場から、如何にすべきか、大いに悩んでいる今日この頃であります。

編集者 佐藤昌久